



# 「自然と環境の保全是足元から！」



さっき木道でも見かけたあれかな？

みなさん、このマングローブの名前は知っているかな？

おっ！トントンミーだ！



漂着種子

## おいしいOEC ニュースレター

April, 2011

### No.16



## おきなわ環境クラブの 目指すところ

「サン(Sarah)」、リン(Cora)、「イン(Delia)」は、一九六〇年前後から七〇年代にかけて宮古島を襲った台風の国際名として、

そのとき島にいた人たちの記憶に今も残っています。去る三月十一日に起きた東日本大震災には、今もなお、国を挙げて懸命の支援が続けられています。今回の災害は、沖縄の小さな島々に住む私たちにとっても他人事でない天災として、地震・津波をはじめ台風や干ばつなど、地域の防災と危機管理のあり方が改めて問われています。

おきなわ環境クラブ(OEC)は、島の自然と環境について「知る、理解し認識することこそ、それらを保全するために最も有効な方法だと考え、『環境教育』を機軸に平成十一年四月の設立以来活動を続けています。

沖縄は、サンゴ礁に囲まれた規模の小さな島嶼生態系であることが特徴です。沖縄本島や石垣島、西表島、久米島のように流れの短い川とそれらが注ぐ海、そして宮古島など川がなく地下水となる石灰岩の島など、これらの島々では、私たちの生活や産業の影響が川や地下水、海などの自然と環境へ直ぐに現れます。

それらの水環境が人の手によって引き起こされる変化は、形の改変、水質(赤土、有機物、有害物質)汚濁、生物的な攪乱などがあります。これら水環境の課題について、私たち一人一人が理解(認識)を深め、行動につなげる『環境教育』が最も大切なことと当クラブは考えました。

島の生態系は南国の特徴的な題材に恵まれ、小さくまとまって環境を学ぶ場として最適です。そこでは私たち一人一人が島の自然と環境について、もとの健全な姿を理解するとともにそれらの変化に気づき、今起きている問題・課題が分かれば、各自が自ずと保全に向けた行動へつながると考えます。当クラブは、その変化に気がつく『きっかけ』つくりとして、主に マングローブなど水辺緑化の実践、教育プログラムと教材の開発、情報の収集と発信など、地域と学校に向けた環境教育を基軸とする活動を続けてきました。

OECは平成二十三年度も従来の『環境教育』を機軸に、国際協力機構(JICA)が委託するエコツーリズムや観光開発、水産開発などの研修コースをとおして、沖縄から世界へ知見やスキルを発信するとともに、前述の水環境の課題について、それらの解決をめざして挑戦し続けていきたいと思えます。

(会長) 下地邦輝

第 16 回 国場川水あしび にて H22.12/18



## 国場川下流右岸 地域で取り組む 水辺植生の再現

OECでは、国場川流域を都市部における身近な環境教育の場としてとらえ、平成十一年以降、河川敷の緑化活動や環境教育プログラムの提供、観光客の受入をおこなっています。

二十二年度は「一般社団法人沖縄しまたて協会 NPO等活動支援」の助成金を受けて活動を実施しました。この活動では、地域にふさわしい、そして楽しい自然と環境の学習プログラムを開発し、継続的に展開していける活動モデルと実施体制の構築を目的としています。昨年に続き、国場川右岸河川敷の長さ約百メートルの範囲を対象に、サガリバナ並木づくりのワークショップを二カ月に一回のペースで実施しました。

おきなわ環境クラブ会員やサガリバナオーナーさんをはじめ、一般の参加者の皆さんと一緒に楽しく草刈や海浜植物の植栽などの手入れをし、サガリバナや海浜植物を大きく育て、雑草雑木の繁茂が抑えられたサガリバナの並木を維持することができました。那覇市公園管理室の協力により、苗床を確保することができ、河川敷へ植栽する海浜植物の継続的な供給体制を整備することができました。

また、漫湖周辺の生きものの観察や水辺環境調査のプログラムを整え、沖縄エコツアーガイドの協力を受けて実施しました。おきなわ環境クラブ事務局（企画・調整）、沖縄エコツアーガイド（プログラム提供）、参加者（体験・実践）の連携による実施体制を整えることができました。

熱心に草刈りに取り組みます



H22.5/15

ギンネムの  
根切りに苦戦



H22.5/15

ツブキの植栽



H23.1/22

国場川左岸 水質測定



H23.2/19



漫湖水鳥湿地センター展示室にて  
湿地の解説 H23.2/19

年度はじめは、植栽した海浜植物を成長させるために草刈をすることやギンネムの根切り・ギンネム芽生えの抜き取りというサガリバナ並木づくりにはかせない基本的な作業をしっかりとおこなうことを心がけました。現在のところ、ギンネム株の根切りは効果があるようです。夏季には、植栽したグンバイヒルガオやボタンボウフウが大きく成長し、花を咲かせ、実（種子）をつけ、参加者たちを楽しませてくれました。特に継続して参加されている方にとっては、活動の成果を感じることができ、嬉しくなりました。

ワークショップに何回も参加されている方たちは、積極的に活動を引っぱってくれました。参加者の声を聞いてみると、「観察は楽しい。ガイドさんの話を聞いて新たな発見があった」、「海浜植物によって雑草を抑えることはまだ十分とは言えない。草刈作業の負担もあまり減っていないと思うので、これからも試行錯誤が必要だ」、「少しずつサガリバナの並木が整備されている。除草しながら、しっかりと仕上げたい方が多い」といったようなものがありました。また、漫湖公園でウォーキングをされている方に、活動への励ましの言葉や助言をいただき、一般の方にも漫湖の環境に関心が高まってきていることを感じる場面もありました

今後も河川敷の草刈りや海浜植物の植栽を通じてサガリバナ並木の手入れを続け、漫湖の環境に関心を寄せる場づくりをしていきたいと思えます。平成二十三年度も定期的なワークショップを実施しつつ、地域の方や観光客へプログラムを提供して経費を確保しながら、参加者の皆さんと一緒に力を合わせて活動を続けていきます。地域の環境保全活動に関心をお持ちの方、ぜひ一緒に活動しませんか。

四面に活動参加募集と今年の予定を記載していますので、ご覧ください。

（研究員 三浦弘之）



# 沖縄県地域環境センターの紹介

託業  
受事

## 沖縄県地域環境センター



沖縄県地域環境センターは、環境保全活動の拠点とし、環境問題に関する情報・資料等を整備し、地域における環境保全活動を支援すること

とを目的に、平成二年度に県庁の四階に設置され、環境情報の収集・整理・提供、環境一般に関する県民からの照会への対応を行ってきました。

平成一五年度から、OECがセンターの管理業務を受託し、地域の環境イベントへの教材貸し出しや本土からの修学旅行の事前学習などに利用されており、年間を通して積極的に沖縄県の環境情報の発信に努めています。また県民向けの環境啓発活動（セミナー・野外観察会・出前講座）を実施しており、今年度は、三〇回以上を予定し準備をすすめています。

出前講座は、中学校やこどもエコクラブを対象に実施し、環境学習の為に講師を派遣して、子ども達の環境に対する活動を支援しています。



セミナーは、沖縄独自の豊かな自然の魅力や環境、抱えている課題について知ってもらい、野外観察会は、実際に自然にふれ、身近な自然を再発見する機会を提供しています。



写真1) 出前講座  
生徒も真剣！  
「安田小学校」での講話



写真2) セミナー  
人気が高い  
「段ボールコンポスト」



写真3) 野外観察会  
沖縄エコツアーガイドによる  
「首里の湧水めぐり」

### 沖縄県地域環境センター（県庁西階）

電話 〇九八 八六六 二一六三八

<http://www.i-okinawa.net/people/kankyo-center/>

今年度の詳しい活動は、センターのホームページをご覧ください。

## 平成22年度 助成金・自主事業、JICA研修、協議会・検討委員会の参加等

### 一般社団法人沖縄しまたて協会 NPO等活動支援

- H22年度 第8～12回 国場川サガリバナお手入れワークショップ 場所：国場川右岸河川敷
- H22年度 第1～4回 国場川環境調査ワークショップ 場所：漫湖水鳥・湿地センターとその周辺
- 7/3 平成22年度 第1回 国場集落ワークショップ「国場集落サガリバナ観賞会」 場所：那覇市国場集落
- 7/5-7/9 平成22年度 第1回 OEC野外観察会「県庁サガリバナ観賞会」 場所：沖縄県庁構内中庭
- 7/31 夏休み自然体験学習「マングローブの世界をのぞいてみよう！」 場所：漫湖水鳥・湿地センターとその周辺

### 教育委員会や旅行会社等からの依頼

- 6/20 北谷町教育委員会ちやたんニライセンター生涯学習プラザ「漫湖マングローブ自然観察」 場所：漫湖水鳥・湿地センターとその周辺
- 2/6 那覇市教育委員会生涯学習課那覇こどもデザイン室（企画運営：NPO法人教育支援協会沖縄）「漫湖課外活動自然観察会」 場所：漫湖水鳥・湿地センターとその周辺
- 2/17 JTB 中部四日市支店 修学旅行生（三重県立四日市商業高等学校）への講演 場所：沖縄かりゆしビーチリゾートオーシャンスパ

### イベント・地域行事等

- 5/22-23 日本環境教育学会おきなわ大会に参加。ブース出展 場所：那覇市 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」
- 10/31 おきなわアジェンダ21 県民環境フェア in とみぐすくでブース出展 場所：豊見城市 道の駅「豊崎」
- 11/13-14 国際協力・交流フェスティバル2010でブース出展 場所：浦添市 JICA 沖縄国際センター
- 12/18 第16回 国場川水あしびでブース出展と自然体験プログラムの提供 場所：豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター

### JICA 研修

熱帯・亜熱帯地域エコツーリズム企画・運営、持続可能な観光開発（大洋州地域）  
多様化による沿岸水産資源の持続性確保（沖縄研修） 中南米地域 熱帯・亜熱帯地域エコツーリズム企画・運営  
持続可能な観光開発（カリコム諸国） ドミニカ共和国「官民連携による豊かな観光地域づくり」プロジェクト（沖縄研修）

### みんなで作る清ら島アジェンダ21

H22年度 第1～4回改定検討委員会に出席

### 漫湖自然環境保全連絡協議会

- H22年度 第2～12回 運営委員会に出席 場所：漫湖水鳥・湿地センター
- 6/22 講演会・総会出席 場所：漫湖水鳥・湿地センター
- 7/17,3/19 漫湖チュラカーギ作戦 25/26に参加 場所：漫湖水鳥・湿地センター
- H22年度 第1～2回 漫湖利活用ワークショップ参加 場所：奥武山公園武道館会議室

### 沖縄県緑化推進委員会那覇支部（那覇市緑化センター）

- 7/14,11/25 平成22年度 第1回常任委員会、第2回常任委員会 出席
- 8/11 平成22年度 第34回定期総会・懇談会 出席

国場川河口域「自然体験・学習プログラム」  
リーフレットのご紹介

OECは、那覇市国場川河口域の水辺の環境をフィールドに、平成二十二年度は、(社)沖縄しまたて協会の助成を得て、「国場川下流右岸における地域で取り組む水辺植生の再現と学習プログラムの開発」を実施してきました。

今回の活動の成果を一般市民向として、二種類のリーフレットにまとめました。配布が可能ですので、関心のある方は、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。



一緒にサガリバナの並木をつくろう！



身近な自然や環境にふれてみよう！



平成二十三年度の予定

自主事業

- ・国場川右岸河川敷  
サガリバナと海浜植物のお手入れワークショップ  
(二か月に一回 第二土曜を予定)
- ・七月 県庁「夜のサガリバナ鑑賞会」
- ・八月 サガリバナ「鉢植え講習会」、  
または「夜の鑑賞会」  
変更の場合もありますので、詳しくは、  
当クラブへお問い合わせ下さい。

受託事業

- ・JICA 沖縄 課題別研修  
・熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営
- ・持続可能な観光開発(大洋州地域)
- ・多様化による沿岸水産資源の持続性確保(沖縄研修)
- ・中南米地域 熱帯・亜熱帯地域における  
エコツーリズム企画・運営
- ・持続可能な観光開発(カリコム諸国)

行事参加・ブース出展

- ・国際協力・交流フェスティバル2011
- ・おきなわアジェンダ2011 県民環境フェア
- ・第一七回 国場川水あしび

今年度もOEC主催のワークショップをたくさん計画しています。随時、ホームページや新聞等でお知らせしますので、是非ご参加下さい



集 国場川右岸河川敷  
募 サガリバナと海浜植物のお手入れ

この活動は、サガリバナを元気にするため  
に、下草刈り作業や追肥作業をおこなって  
います。また新たに海浜植物の植栽も加わり活  
動が広がっています。沖縄の水辺環境の再生  
に参加しませんか？お待ちしております！

【日程】

- 第一三回 五月二十一日(土)
- 第一四回 七月九日(土)
- 第一五回 九月十日(土)

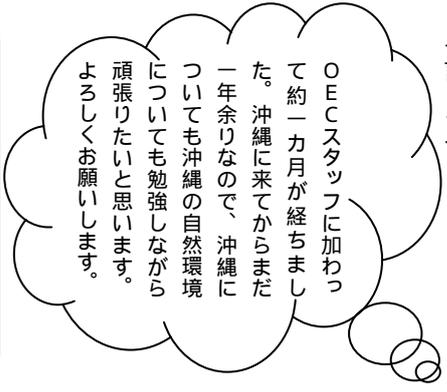
【時間】午前十時～十二時

用具はOECで用意致します。



新しいスタッフの紹介

三月十五日から立田亜由美研究員が  
沖縄県地域環境センターに配属されてい  
ます。一言どうぞ！



特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ

<http://www.npo-oec.com/>  
自然と環境の保全是足元から！

おきなわ環境クラブ(OEC)は、水辺環境の環境保全活動を  
きっかけに、地域の自然保護や環境保全の気づきが広がること  
を目的とした、子どもと大人のNPO/NGO 団体です。

〒902-0075 沖縄県那覇市国場 370-107  
TEL:098-833-9493 FAX:098-833-9473  
e-mail :kokuba@npo-oec.com

